

# 令和5年度 りんでん幼稚園自己評価結果公表シート

## 1. 本園の教育目標

### 『仏教保育』

仏教保育を通して、報恩と感謝の心を育み、明るく素直で、人の話を集中して聞くことができる態度の育成に努めます。

本園では、めざす幼児像として次の項目をあげています。

- ① ありがとう ごめんなさい が素直に言える子ども
- ② 友達とのつながりを理解し、思いやりのある子ども
- ③ ひとつのことを続けていくことで楽しみを見つけられる子ども

### 『心の教育』

「幼児期にしっかりと愛情こめて育てる事により、小学校で根付き、中学校で花が咲く」  
いかに幼児期が大切であるか幼稚園生活を通して、ほとけ様の心【心の教育】を育てています。

- ① 「すみません」という反省の心
- ② 「はい」という素直な心
- ③ 「おかげさまで」という謙譲な心
- ④ 「私がします」という奉仕の心
- ⑤ 「ありがとう」という感謝の心

### 『音体教育（鼓笛を通して）』

音体教育とは、音楽・体育をもとにし「生きる力」「リズム感」「感性」を培っていく教育です。  
そのために本園では、鼓笛を通して、「美しい姿勢」・「挨拶」・「けじめのつけられる生活」（遊ぶ時は遊び、頑張る時は頑張る）が身につく、協調性、集中力、忍耐力を養い、日々の練習を積み重ねて、努力をし、最後まであきらめず自信をもち、子ども達が【自分で考えて行動できる】ように取り組んでいます。

鼓笛は一人ではなく、みんなで力を合わせないとできません。悔しい気持ち嬉しい気持ちがわかる子ども達だからこそ、お友達に思いやりをもって、力を合わせることの大切さを知ることができます。

ひとつのことを頑張るといことは、この年齢ではとても大変なことです。「できない！」と悔しい気持ちになったり、また悲しい気持ちになったりする時もあります。だからこそ、「できた！！」「やった！！」という喜びを大切に、『できた！』喜びや達成感をお友達や職員と共に共感することで自信へとつながります。

最後までやりとげられる力を、鼓笛マーチングを通して体得することができ、この力は将来子ども達の【生きる力】となり、誇りをもって生きていく力になると確信しています。

## 2. 本年度の重点的な目標・計画

全職員が共通理解をはかり、教育の質を高めるとともに、幼児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるように教育内容の改善に取り組んでいく。

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

課題	具体的な取り組み方法
<p>教育課程</p> <p>① 仏教の行事や週礼参拝を通して、心の教育を育む。</p> <p>② 友だちとの関わりを通して協力することや達成感を味わう。</p> <p>③ 自由に表現する楽しさを感じる。</p> <p>④ 自然や生き物との関わりを楽しむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月の徳目を、子どもたちが理解できるように伝えた。</li> <li>・ 全学年での週礼参拝を通し、話の聞き方や正しい姿勢を意識づけた。</li> <li>・ 花まつり、成道会、涅槃会を通して、仏教の教えや命の大切さを伝えた。</li> <li>・ 年少児のお店屋さんごっこでは、子どもたちの想像力を大切にしながら取り組んだ。</li> <li>・ 発表会のお遊戯や劇では、振り付けや歌詞をみんなで教え合いながら練習できるように心掛けた。</li> <li>・ 年長児は、自己紹介の場を設け、人前で自分のことを話したり、相手のことを聞いたり、お互いを知る機会を作った。</li> <li>・ 年長児は年中少児と関わる機会をつくり、縦割り保育を行った。</li> <li>・ 年長児は、卒園までの日数とメッセージを書いたカレンダーを一人一日ずつ担当して作り、一日一日を大切に過ごした。</li> <li>・ 年少児の楽器遊びでは、自分のカスタネットを使用し、持ち方や叩き方を知り、音楽に合わせて叩くことを楽しんだ。</li> <li>・ 年中児の絵画では、自分の顔のパーツを絵の具で画用紙に塗る際、固定概念に捉われず、好きな色で表現した。</li> <li>・ 年長児は行事ごとの経験画に感想を書き、自分たちの言葉で文章を作る練習をした。</li> <li>・ 年長児の講師による最後の絵画では、子どもたちが内容を決め、完成に向けて、必要な材料やアイデアを話しながら、協力して作った。</li> <li>・ 年少児は、梅雨の時期にカタツムリの飼育をし、生態の不思議さに興味や関心を持つことができた。</li> <li>・ 年中児は、マリーゴールドの種とピーマンの苗を育て、当番制で水やりをしながら、成長する過程を</li> </ul>

	<p>楽しんだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園庭で遊ぶ際に、図鑑を見ながら生き物を探し、発見した喜びを子ども同士で分かち合う姿が見られた。</li> <li>・ プラネタリウム鑑賞では、普段学ぶ機会のない星の動きや星座の名前、七夕の話を聞き、理解を深めた。</li> </ul>
研修・園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月に一度の園内研修では、議題を担当の学年や職員が考え、職員同士のコミュニケーションを取りながら行った。</li> <li>・ 外部の研修がコロナ禍より以前の状況に戻り始め、他園との情報交流や新しい知識を得る機会が増えた。</li> </ul>
幼稚園と家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症が収束し、参観をクラス全員ですることができ、子どもたちの普段の様子を見てもらった。</li> <li>・ 近隣の小学校の先生が職場体験として保育に入り、幼稚園での保育内容や子どもとの関わり方、小学校と幼稚園の違いをお互いに話し、情報交換をした。</li> </ul>

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

##### 教育課程

- ・ 仏教保育や徳目を通して、仏教の教えを学び、命について考えることができた。
- ・ 縦割り保育を行うことで、自由遊びの時間に他学年と関わる姿が見られた。
- ・ 楽器遊びや絵画等において、子どもたちの自由な発想を引き出すことができた。
- ・ 生き物との関わりを通して、生態の不思議さや植物の成長する過程を知ることができ、製作や絵画に取り入れることができた。
- ・ コロナ禍での取り組みを活かし、行事内容を見直すことができた。
- ・ 年少児は設定保育の時間を減らし、自由遊びの時間を増やしたことで、子どもとの関わりや日常の充実につながった。
- ・ 行事でしか得られない達成感を感じることで、一人ではなくみんなで協力する喜びをわかち合うことができた。
- ・ 新型コロナウイルス感染症が収束し、年長児はお泊まり保育を行うことができ、保護者と離れて生活する経験ができた。

##### 研修・園内研修の充実

- ・ 様々な議題の中には、普段の保育中での疑問を全員で共有し、解決策や他の保育者の意見を知ることができ、保育の引き出しを増やすことができた。
- ・ 外部研修では、保護者対応について学んだことで、実際に保護者と話す際に活かすことができた。

## 幼稚園と家庭との連携の充実

- ・ 子どもにとって何が最善かを常に考え、保護者との連携を密に取ることができた。
- ・ 新型コロナウイルス感染症が収束したことで、前年度よりも保護者と交流する機会が増え、子どもたちの普段の様子を見てもらう機会が増えた。
- ・ 行事ごとに子どもたちの様子を動画配信やホームページで写真をアップしたことで、普段の様子を保護者に見てもらうことができた。

## 5. 今後取り組むべき課題

課題	令和6年度に向けての課題点・具体的な取り組み方法
教育課程の確認・見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進級当初は、クラスの様子を見て、保育内容を再度見直す。</li> <li>・ 大きな行事前においては、保育にゆとりを持ち、子どもたちに寄り添った保育ができるようにしていく。</li> <li>・ 他学年との交流を深める機会を増やすため、縦割り保育を行っていく。</li> <li>・ カスタネットがカリキュラムのみの使用となってしまったため、積極的に使用する機会をつくっていく。</li> </ul>
外部研修・園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園内研修では、自分で調べて得られる情報だけでなく、職員同士の意見交流の中で情報を得られる機会にする。また、新任の先生の不安や悩みを全体で共有し、経験のある先生からアドバイスをもらう機会を増やす。</li> <li>・ 外部研修で学んだことを職員間で共有する場をつくり、参加していない保育者でも保育に取り入れるようにする。</li> <li>・ 外部の専門講師との研修の場をつくり、保育に活かすことができる機会をつくる。</li> </ul>
幼稚園と家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭での様子や幼稚園での様子等、子どもについての情報共有を密に取り、保護者の不安が少しでも減るように心掛ける。</li> <li>・ 保育参観と土曜参観の期間をもう少し空けることで、子どもたちの様々な姿を見てもらうことができるようにしていく。</li> </ul>

## 6. 今後取り組むべき課題（学校評価委員からの意見）

### ●教育課程の確認・見直し

- ・ 行事前に保育にゆとりを持ち、子どもたちに寄り添った保育をされるということは、とても大切なことと思います。昨年度、小学校で支援学級の担任を11年ぶりにしたのですが、様々な特性を持った子どもは急がされたり、急に内容を変更されたりすることがとっても苦手で、それでパニックになる子どももたくさんいます。パニックにならなくとも「いややなあ」「つらい」と感じる子もいます。行事はゆとりをもって、見通しをもってされるようにお願いします。  
(教師って「できた」ら次を望んでいってしまうのですが、それを重荷に思う児童がいるのも事実です。)
- ・ コロナがあけて、小学校でも様々な取り組みが再開されていますが、低学年のしんどさが浮き彫りになってきています。小学校現場では「小学校の取り組みしか見えていませんが、幼稚園、保育園時代に本来培っておかなければならない基本的な心の教育や友だちとのかかわりを大切にする集団生活の基本などがやり切れていない児童が多く見受けられました。3年間を埋めるのに倍の6年くらいかかるかもしれません。保幼小連携を今まで以上に持っていただき、子どもたちの心身の発達により一層連携をお願いします。
- ・ 仏教保育を根幹として、心の教育、音体教育を柱に、よりよい保育を目指されていることが、具体的な行事や取り組みで理解することができた。
- ・ 仏教の行事を大切に、教育課程に位置付けておられることは、りんでん幼稚園でこそ可能な教育課程であるので、引き続き、園児の心にしっかり根付くように取り組んでいただきたい。
- ・ 年長児は、小学校就学を視野にいれた活動を教育課程に取り入れていく必要がある。人前で話す機会を設け、自分の思いを伝える活動を行っておられるのは、大変意義があり、相互を理解し、クラス集団づくりにもつながる活動。また、卒園前のカレンダー作成は、小学校就学を期待する気持ちの醸成と心がまえ、不安になっている気持ちを軽減できる活動であり、本園でも取り組んでいきたいと感じた。
- ・ 縦割り保育は、設定するのがなかなか難しいが、継続的に活動を行ってほしい。
- ・ 音楽や絵画活動は、子ども達が自由に表現し、生き生きと活動しているようすがうかがえる。
- ・ あまり見かけなくなったカタツムリの観察は、保育活動を豊かにし、季節ならではの昆虫の観察や花や野菜の世話や栽培は、探求心や豊かな心の成長につながっている。収穫したものを給食の食材にまでつなぐとより豊かな活動になる。
- ・ すぐ手に取れるように図鑑を備えておくと同時に、個別に写真を掲示しておくとともに探求心が芽生えていく。
- ・ プラネタリウム鑑賞に出かけられる環境があるのは素晴らしい。
- ・ 縦割り保育の取り組みに賛同致します。
- ・ 現在の教育課程の内容で、特に見直しや是正すべき点はないと思います。登園・降園の

園児たちと時々会いますがみんなきちんと挨拶ができています。

- 作品展の内容も個性は個性、協調するところは協調がうまくバランスしていて良かったと思います。

- 三領域の教育目標を掲げ人間形成の基盤を培い、それに従って種々の領域の中から協調性、集中力、忍耐力を養い、努力し、最後までやり遂げる。その中から充実感を味わい、喜びを感じる。そういうところから自信がつき、成長していく道筋につながっているとくふうがなされていると思います。

運動会、作品展、生活発表会を拝見し、クラス全体の協力はもとより、隣にいる仲間から、全体に励ましの声かけをし、協力し合う体制づくり、やり遂げようとする気持ちや出来上がった時の喜びを分かち合う、協力体制の大切さを、しぜんの中から学んでいるように思います。

### ●研修・園内研修の充実

- 毎年、新しい先生が入ってこられ、フレッシュないきいきとした園の雰囲気を感じます。新しい先生の経験不足のところを経験のある先生方の支援で解消されていく取り組みをされているのは素晴らしいと思います。

また、SDGsの取り組みやSNS上の人権を蹂躪するような差別発言など今の私たちを取り巻く問題もたくさんあります。保護者会とも連携をとって、園児や関係者が被害にあわないように、巻き込まれないような取り組みをされることを期待します。

目先のお金で殺人を請け負ったり、詐欺に手を貸したり、今、若者だけでなく、日本全体の取り巻く環境は厳しくなっています。一見裕福そうに見えても、どこかで物足りなさや不安を抱える先生もいるかもしれません。丁寧なご配慮をお願いします。

- 月に1回、定例で園内研修を実施され、先生方自らが身近な課題を議題にし、全員で共通理解されていることが、園全体の保育力の向上につながっていると感じた。
- 外部研修に参加した本人だけの学びにとどまらず、その内容を園内に還元していくことについては、今後の課題にあげられているので、ぜひ、取り組んでいただきたい。
- 積極的に外部研修に参加できる体制ができていると感じた。

- 研修の内容は直接にはうかがえませんが、作品展・運動会・生活発表会を参観させていただいた感想からは、ご指摘する点はありません。これからも継続してください。

- 先生方が前向きに研修に取り組んでおられる姿が目にかびます。職員同士の意見交流、新任先生を囲んで、悩み、不安を全体として共有して、とりこぼしのない学級、学年運営をし、園児の指導に当てておられる、園児も保護者も安心して生活、登園できることにつながっていると思います。種々の事柄（絵画・工作・野菜づくり等）について、外部の専門講師に取り組み、学びが必要で完全に生きています。直接、来園していただき、園児と共に指導をうける（野菜づくり等）も有りかと、そして収かくの喜びを味わうのも良いかも…。

## ●幼稚園と家庭・地域との連携

- ・りんでん学園の取り組みを理解して入園を希望される保護者が多いように思います。いろいろなイベントの時の保護者の笑顔を見ると、充実した生活を送られているように見受けられます。
- ・ICTを利用した家庭との連携をこれからも推進されていくと思いますが、人と人とのつながりは顔を突き合わせてするのが根本だと思います。バスでの登園、降園時に保護者と会う機会があると思います。そのような機会も大いに利用して、課題や困難を持っている可能性のあるご家庭の支援をよろしくお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染症が落ち着き、保護者が来園し保育活動を見ていただける機会が増えたことは良かったと感じる。
- ・小学校との連携ができる環境にあるのは、大変重要であり、就学前教育を小学校の先生方に理解していただき、発信できる機会は今後も継続してもらいたい。
- ・保育活動を動画やホームページでの発信は、今後も積極的に行っていただき、保護者に貴園の強みをアピールして行っていただきたい。
- ・参観の回数や日程を考慮して行事予定に組み込んでいくのは難しいが、保護者にできるだけ満足していただける内容を検討していただきたい。
- ・近隣小学校との連携はたいへん評価できると思います。
- ・コロナ禍以前の取り組みに徐々にもどして行って、家庭との連絡をより密になるようにお願いします。
- ・きちんとできていて、問題ないと思います。降園時の園児、父兄の方をお見掛けしますが、みなさん楽しそうに帰って行かれます。あの笑顔が何よりも、園に対する信頼を表していると思います。
- ・幼稚園と家庭の連携は、基本となる最大限、大切な事だと感じています。家庭に於ける子どもの悩み、又、逆に子育てに悩む保護者の思い、不安に耳を傾け、双方生活に不安のないよう手をさしのべて各家庭の不安が少なくなるよう、先生方は大変ですが、そのような姿勢や雰囲気を実践する保護者は先生方を、園を身近に感じ、理解し、お互いの協力体制もでき、より良い関係ができていくと…。

## ●その他の意見や感想

- ・茨木市内の中学校でも全学校がLGBTQの観点から男女問わない制服(制服の選択制)が導入されました。  
これから、幼稚園でもそのような対応が必要になってくると思います。実際、ある小学校では、小学校1年生に入るときに性別に違和感のある児童が入学し、その対応に取り組んでいらっしゃるという話を聞いています。生活発表会では、今なお男女に分かれての取り組みがなされていますが、今後どのような方向性を持つのか、議論されてもいいのかなと思います。

- 1年間、ご苦労様でした。同じ就学前教育を行っている立場として、ご苦労されながら毎日の保育活動を展開されてこられたのだなと公表シートを読ませていただき推測させていただきました。

保育活動に多少の差はあるものの、課題は同じように感じました。行事に追われないように、先を見通してゆとりをもって日々の保育を計画的に行っていけるようにとどの教員も同じ思いですが、ゆとりがなくなり、子どもを追い立ててしまっているなど日々反省です。

また、経験の少ない教員の保育力をどのように高めていくか、日々の On the job では、なかなか経験値をうまく伝えられていないのが現状です。

貴園が、定期的に行われている園内研修は、日々の保育でみつかった課題を共有し、意見や思いを出しながら答えを導きだしていくのは、素晴らしいと感じました。ぜひ、本園でも取り入れていきたいと考えました。

保護者対応や個別の支援の必要な園児が増えていく中ですが、私達教員が、生き生きと笑顔絶やさず、楽しく保育ができる職場環境を作っていかななくてはと考えています。元気で子どもたちと楽しい日々をすごしていきたいものです。